

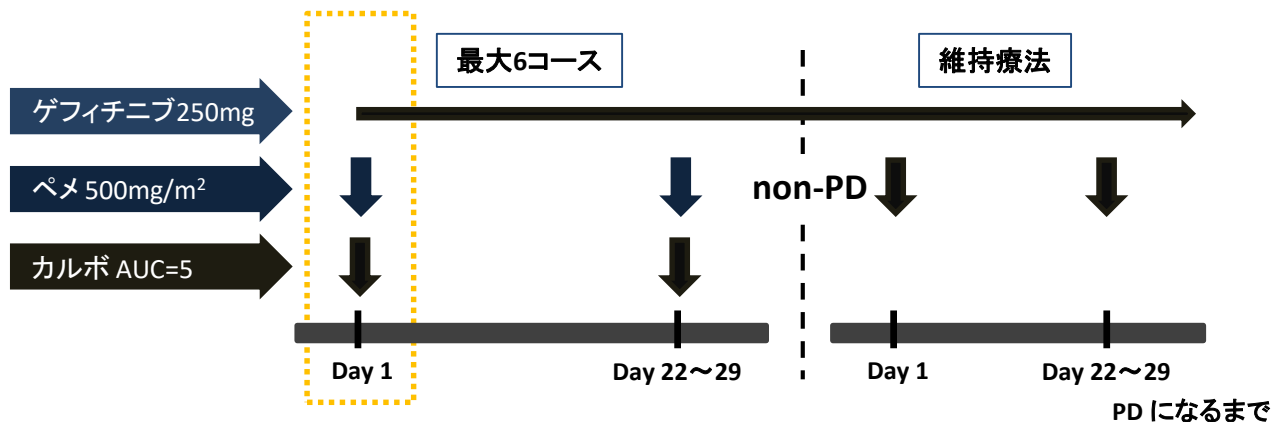
カルボ5+ペメ+ゲフィチニブ+FPD療法

PVCフリー
フィルターなし
催吐リスク: 中等度

レジメン概要

投与は3~4週毎を1コースとし、最大6コース行う。
最大6コース施行後、non-PD例では、維持療法として
ゲフィチニブ内服とPem 500 mg/m²単剤を3~4週毎行う。
初回投与の1週以上前から最終投与後22日目までの間、
パンプタン末1 g/day 連続内服する。
また、VB₁₂(シアノコバラミン)を9週毎に筋注する。

細胞障害性分類
カルボ: 炎症性
ペメ: 非壊死起因性



処方

Day 1

Rp 01 点滴静注
生食 50mL1V
* ルートキープ 残廃棄可

Rp 02 点滴静注
パロノセトロンバック 0.75mg ...1袋
デキサート注3.3mg
アロカロス注235mg
120mL/h

Rp 03 点滴静注
生食 100mL1本
ペメトレキセド 500mg/m² 800mL/h

Rp 04 点滴静注
5%ブドウ糖 250mL1袋
カルボプラチン AUC=5 250mL/h

Rp 05 点滴静注
生食 50mL1V
* 流し ポンプ外してクレンメ全開
終了後、抜去

(Day 2~4) 必要に応じて

Rp 01 内服
デカドロン錠4mg

Day 1~

Rp 01 内服
ゲフィチニブ錠250mg1錠